

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	朝霞市浜崎2丁目計画	階数	地上8F
建設地	埼玉県朝霞市浜崎二丁目9番2、9番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、近隣	平均居住人員	268 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2020年4月16日
敷地面積	2,381 m <sup>2</sup>	作成者	川口土木建築工業株式会社 一級建築士事務所 山家 幸浩
建築面積	1,131 m <sup>2</sup>	確認日	2020年4月16日
延床面積	5,353 m <sup>2</sup>	確認者	川口土木建築工業株式会社 一級建築士事務所 山家 幸浩



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82%

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.4

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 住宅性能評価で断熱等性能4等級、一次エネルギー消費量4等級を取得する計画とし、省エネルギーに配慮している。敷地境界線際の植栽設置など、良好な緑地環境に配慮している。		<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> 断熱性能を省エネルギー対策等級4とし、外皮性能に配慮。F☆☆☆☆の内装建材を採用し、室内空気環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 躯体は劣化対策等級3相当とし、設備は耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木および緑地を設け、良好な緑地環境に配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能を省エネルギー対策等級4相当、複層ガラス、潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用することで省エネルギーに配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 主要水栓に節湯C1、便器を節水型とし節水に配慮。P S、天井内配管等により設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率を参照値より抑制し、地球温暖化への配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
朝霞市浜崎2丁目計画

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版  
■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-				<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00				<b>2.9</b>
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50				
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.50	<b>2.8</b>	0.50				
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30				
2 界壁遮音性能			-	<b>3.0</b>	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	<b>2.0</b>	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	<b>3.0</b>	0.20				
1.3 吸音			-		-				
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.2</b>	0.35	<b>3.1</b>	1.00				<b>3.0</b>
2.1 室温制御		<b>2.2</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50				
1 室温		<b>3.0</b>	0.63	<b>3.0</b>	0.63				
2 外皮性能	断熱等性能等級4	<b>1.0</b>	0.38	<b>4.0</b>	0.38				
3 ゾーン別制御性			-		-				
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	0.20				
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30				
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	<b>3.1</b>	1.00				<b>3.1</b>
3.1 昼光利用		<b>3.6</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.30				
1 昼光率	共用部: 2.246%	<b>4.0</b>	0.60	<b>2.0</b>	0.50				
2 方位別開口			-	<b>3.0</b>	0.30				
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20				
3.2 グレア対策		<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30				
1 昼光制御	住:カーテン+庇(バルコニー)にて昼光制御	<b>3.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00				
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15				
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25				
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00				<b>3.6</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63				
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆建材ををほぼ全面的に採用	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00				
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38				
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33				
2 自然換気性能			-	<b>3.0</b>	0.33				
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33				
4.3 運用管理			-		-				
1 CO <sub>2</sub> の監視			-		-				
2 喫煙の制御			-		-				
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-				<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.7</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00				<b>3.6</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60				
1 広さ・収納性			-		-				
2 高度情報通信設備対応	1Gbitクラスのブロードバンド利用可能		-	<b>5.0</b>	1.00				
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00		-				
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40				
1 広さ感・景観			-	<b>3.0</b>	0.50				
2 リフレッシュスペース			-		-				
3 内装計画		<b>1.0</b>	1.00	<b>1.0</b>	0.50				
1.3 維持管理		<b>4.0</b>	0.30		-				
1 維持管理に配慮した設計	①ゴミ置場の壁は吹付仕上げ ②ゴミ置場の床は機能塗装仕上げ ③廊下床面の水洗浄可(床面に水がたまる隙間なし) ⑤風除室の1次扉、2次扉は1m以上確保 ⑥廊下仕上げに大きく維持管理の異なる仕上げ無し ⑧庇に水切りを設置 ⑩外部に露出する金属部材はSUS等を使用	<b>4.0</b>	0.50		-				
2 維持管理用機能の確保	②清掃資材の洗い場を設置し安全な排水経路確保 ③水を使用し洗浄するスペースに適度な排水勾配確保 ④廃棄物スペース確保 ⑥屋外や共用廊下に清掃作業を目的とした電源を確保 ⑦高所の維持管理が行える設計 ⑧流し台等の排水トラップは取外し清掃可能 ⑨バルブ等日常的な構成が必要な機器は操作は容易な位置に設置 ⑩専有部以外の諸設備は共用部分で管理可能	<b>4.0</b>	0.50		-				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30		-				<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50		-				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		<b>3.0</b>	0.80		-				
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20		-				
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.7</b>	0.30		-				
1 躯体材料の耐用年数	住:劣化対策等級3相当	<b>5.0</b>	0.20		-				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.20		-				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	住:壁)20年(ビニルクロス貼り)、天井)20年(ビニルクロス貼り)、床)20年(フローリング貼り)	<b>4.0</b>	0.10		-				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10		-				

	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用	5.0	0.20	-	-
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		
	<b>2.4</b>	<b>信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.20		
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		
	3	電気設備		3.0	0.20		
	4	機械・配管支持方法	耐震クラスAとする	4.0	0.20		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				-	<b>3.2</b>	0.50	
1	階高のゆとり	階高:2.910m		-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				-	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.5</b>	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>		I 2)空地率48.37% II 1)中・高木、ヒロイ等の水平投影面積率30.72% III 1)緑被率、中・高木の水平投影面積率38.34% V 1)住宅用途あり V 2)住宅用途あり	<b>4.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							<b>3.4</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		断熱等性能等級4	<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>		[BEI][BEIm] = 0.92	<b>3.8</b>	0.50	-	-	<b>3.8</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				-		-	
4.1	モニタリング			-		-	
4.2	運用管理体制			-		-	
集合住宅の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		泡沫水栓に加えて節水型便器の採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>			2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>			3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>		-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>		屋外共用廊下/ビニル床材	3.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>			3.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>		内装が乾式工法で分別が容易 PS・天井内配管により設備との錯綜を回避	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.3</b>	0.20	-	-	<b>3.3</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.5</b>	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0.01未満かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が50未満の発泡剤を使用した断熱材の採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		ライフサイクルCO2排出率=82%	<b>3.7</b>	0.33	-	-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>2.7</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」チェックリストの一部を満たし、広告物照明がない	4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	



# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	朝霞市浜崎2丁目計画	BEE	1.4	BEEランク	★★★
------	------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.7	+	3.3	=	7.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.7
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.7
LCCO2排出率を82%とし参照値より抑制している。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	3.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	4.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
敷地内の日照・植栽条件に応じた中高木及び緑地を設け良好な緑地環境を形成している。			

:入力欄